

8月22日、令和元年度富士総合火力演習予行を観覧させていただきました。今回は2400人もの自衛隊員が参加し、戦車や装甲車など約80両の車両のほか、攻撃ヘリなども参加、2019年に正式採用されたばかりの「19式装輪155ミリりゅう弾砲」も初披露されました。長年大活躍されたOH-6が今年度で退役のため、総火演には最後の参加となりました。

演習では陸上自衛隊の戦車、装甲車、火砲・火器、航空機などの性能が紹介され、後半はシナリオに基づいた迫力のある作戦の様子が展示されました。特に、戦車の射撃音はとて大きく体の奥底まで響いてきます。普段観ることのできない演習を間近に観ることができとても感動いたしました。

(個人会員 大松 リナ)

今年度も神奈川県隊友会県央支部様（会長：藤本正則氏）のご厚意により、当会からは4名が参加することができました。誠にありがとうございました。







撮影：大松 リナ